

標津町定住サポートセンター

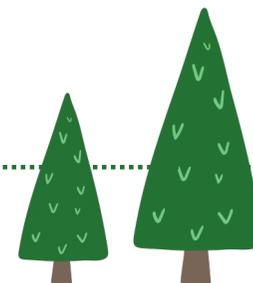


# 令和6年度 移住相談数まとめ

2025年7月  
ゆこう株式会社



## 本報告書の概要



01

集計データについて

02

受付方法・エリア別の相談件数

03

相談件数推移（全体・エリア別）

04

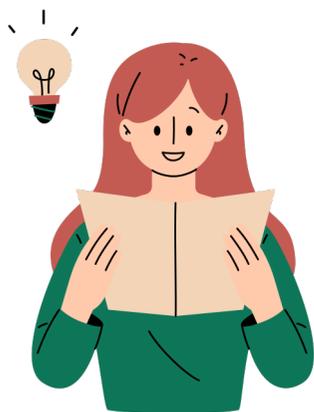
空き家・空き地バンクに関する相談/登録件数

05

空き家・空き地バンクの登録件数/成約率

06

移住者実績



# 01

## 集計データについて

### ①定住サポートセンター相談記録

【R6年度】★移住等相談 受理・整理簿.xlsx

--- 2024年4月1日～2025年3月31日のデータを集計

※同一人物が複数回相談した場合も件数としてカウント

2024年度相談件数 128件

### ②空き家・空き地バンク 現況リスト

空き家・空き地バンク現況リスト.xls

--- 2024年4月1日～2025年3月31日の新規登録物件数

2024年度新規登録件数 8件

### ③移住者実績

★移住者調べ R7.4.21現在.xlsx

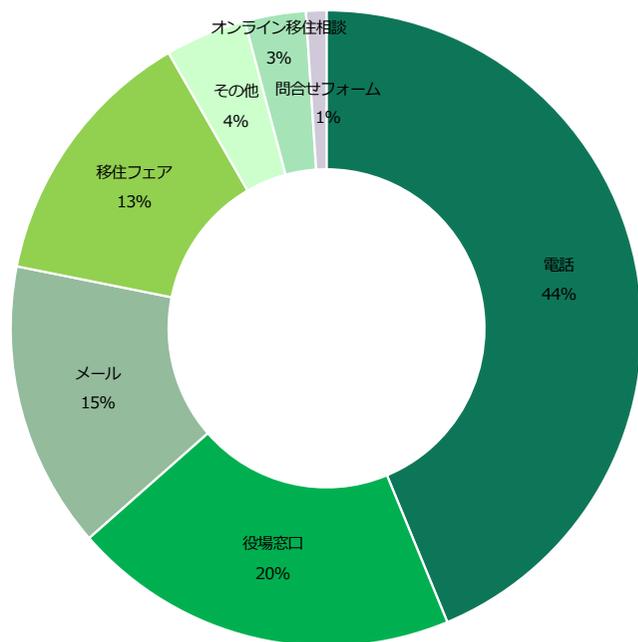
--- 2024年4月1日～2025年3月31日の移住者数

2024年度新規移住者数 6世帯10名

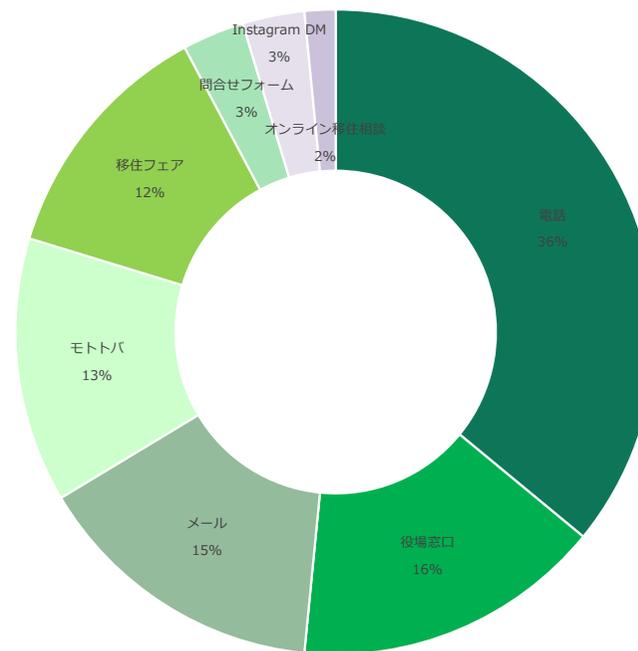


## 受付方法別の相談件数割合

受付方法別の問合せ件数割合（R5年度）



受付方法別の問合せ件数割合（R6年度）

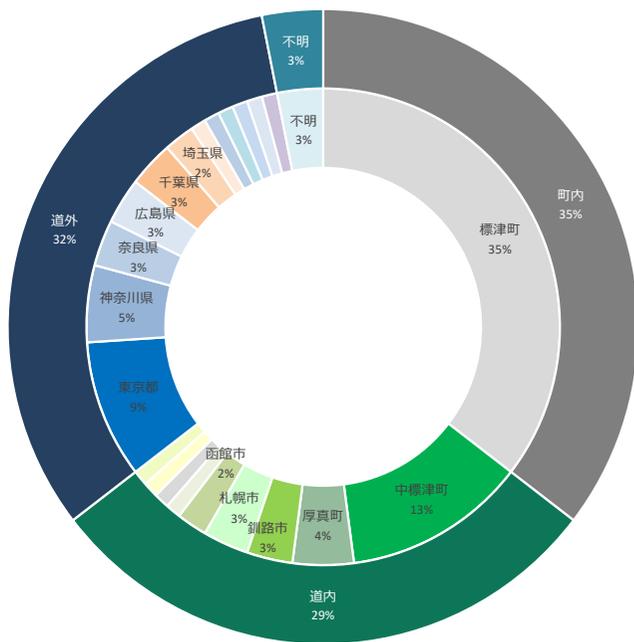


- R6年度の受付方法別の相談件数割合は、R5年度と比較すると、電話と役場窓口が減り、モトトバ窓口が新たに増えた。
- 問い合わせフォーム・メール自体の割合が少ないまま。 → ★気軽に使えるLINEやSNSのDM機能活用を検討したい。
- モトトバで移住相談ができるよう周知する必要あり。 → ★SNS投稿をまだ行えておらず。早々に対応する。

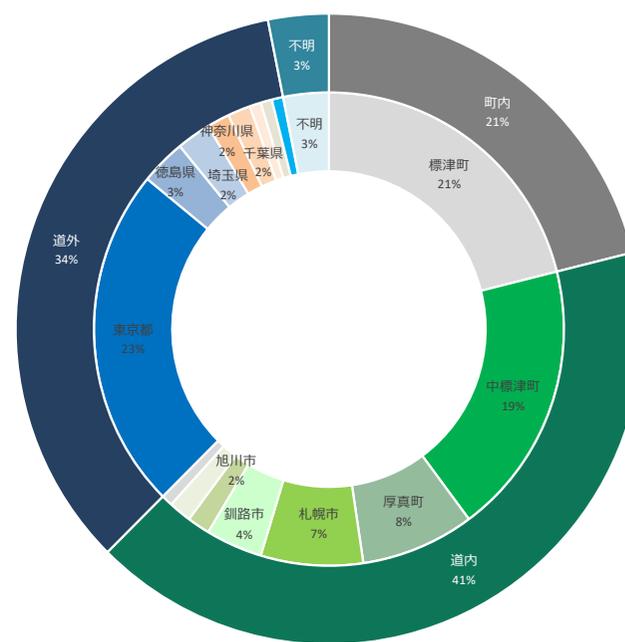


## エリア別の相談件数割合

エリア別の問合せ件数割合（R5年度）



エリア別の問合せ件数割合（R6年度）

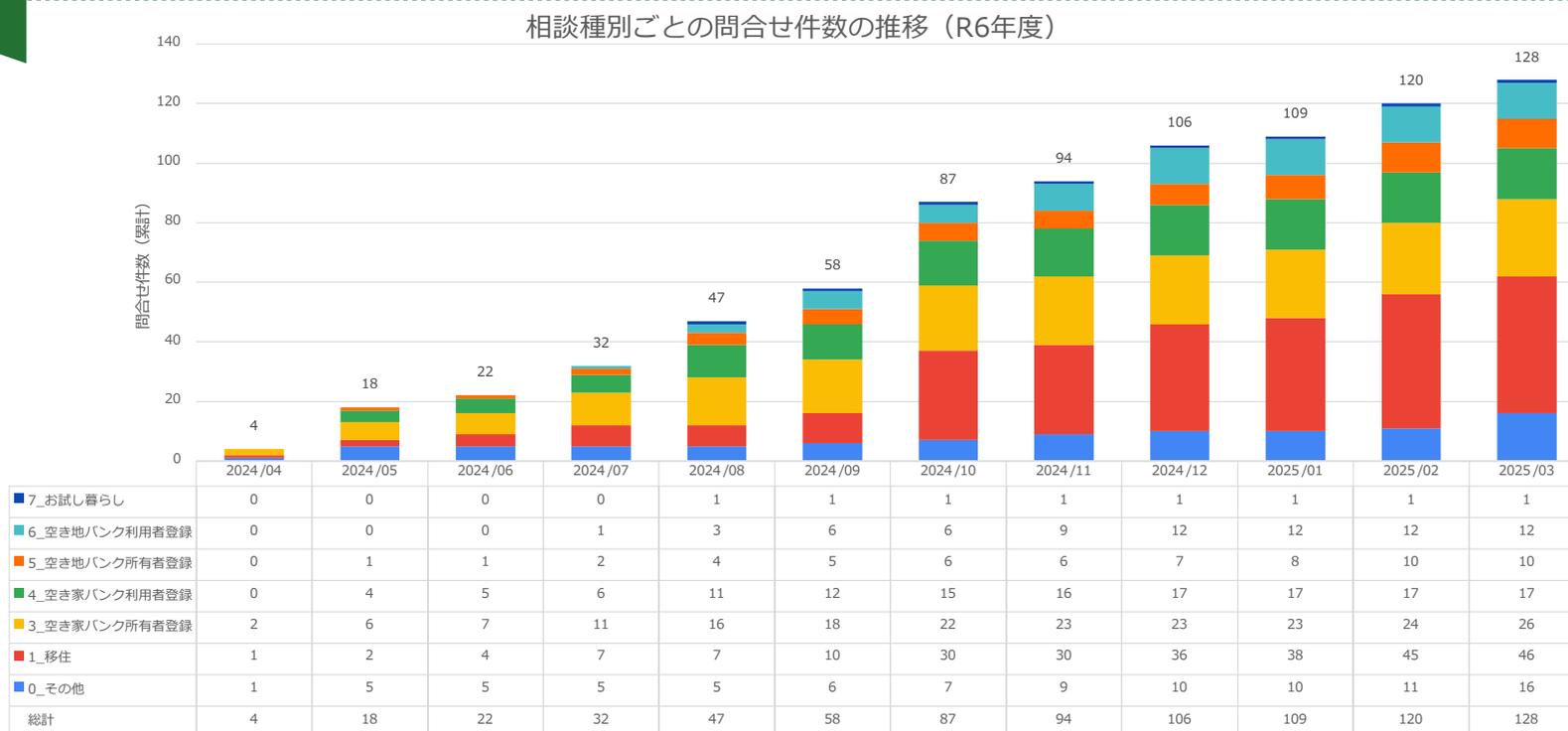


- エリア別の相談件数は、「北海道（町内+道内）」で62%（前年比-2%）
- 特に多い「標津町」「中標津町」で、全体の41%の相談件数を占める。（前年比-7%）相談内容のほとんどが、「物件の売買」について
- 「道外」で34%（前年比+2%）  
特に東京在住の方からの相談が9%→23%に増加。（うち移住フェアでの相談者が半数以上を占める。）  
道外からの相談内容は、「物件探しについての相談」「安い中古住宅を取得して移住したい」「ペット可の戸建て賃貸はないか？」など



## 03

## 令和6年度 相談種別ごとの問合せ件数推移（全体）

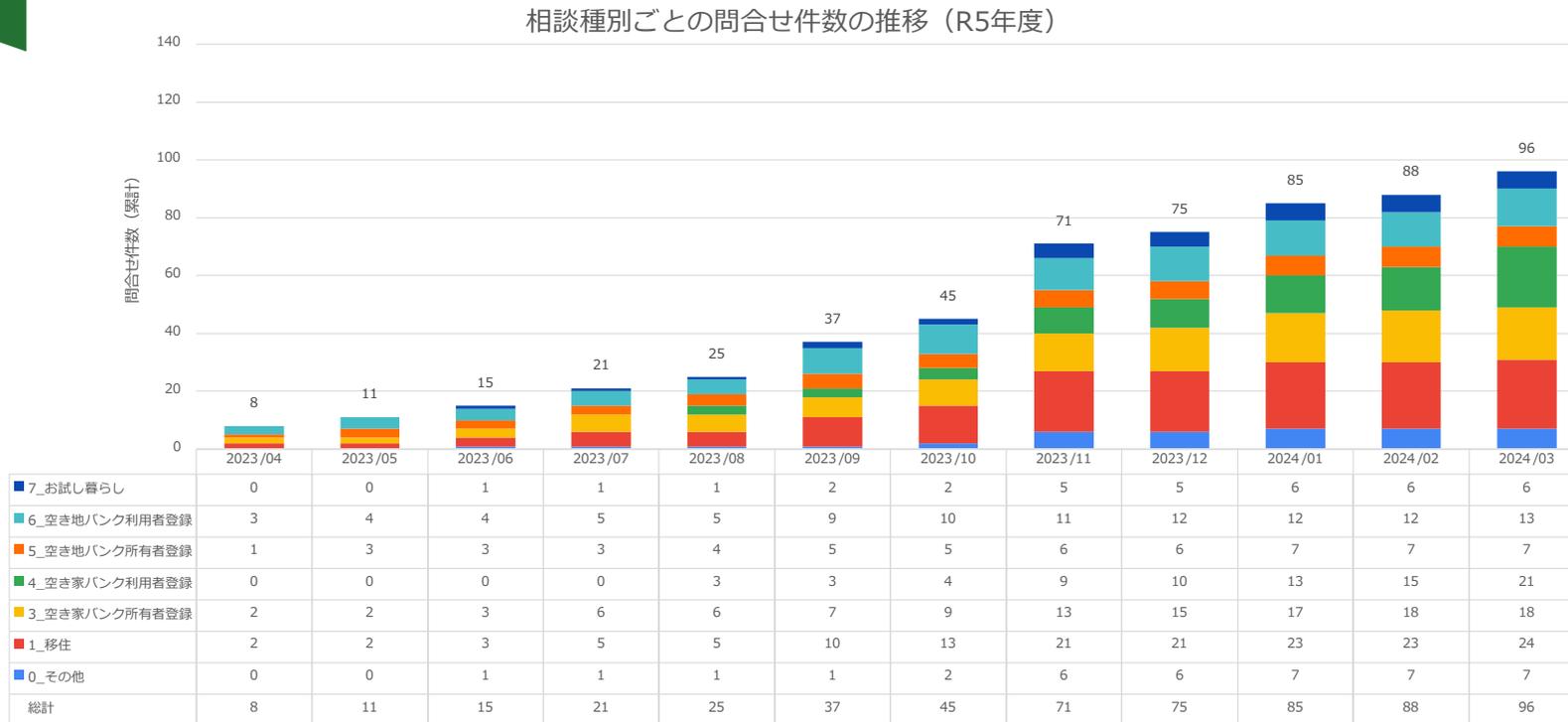


- R6年度は移住に関する相談件数が増加し、全体の約36%を占める。  
移住フェアの10月以降に移住に関する相談件数が増加。  
R6年度に移住相談された27名46件のうち、R6年度中に移住された方は1名。（道内1）
- 空き家や空き地に関する相談が、全体の約51%を占める。

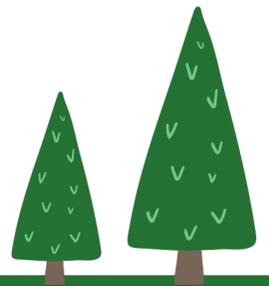


# 03

## 【参考】令和5年度 相談種別ごとの問合せ件数推移（全体）

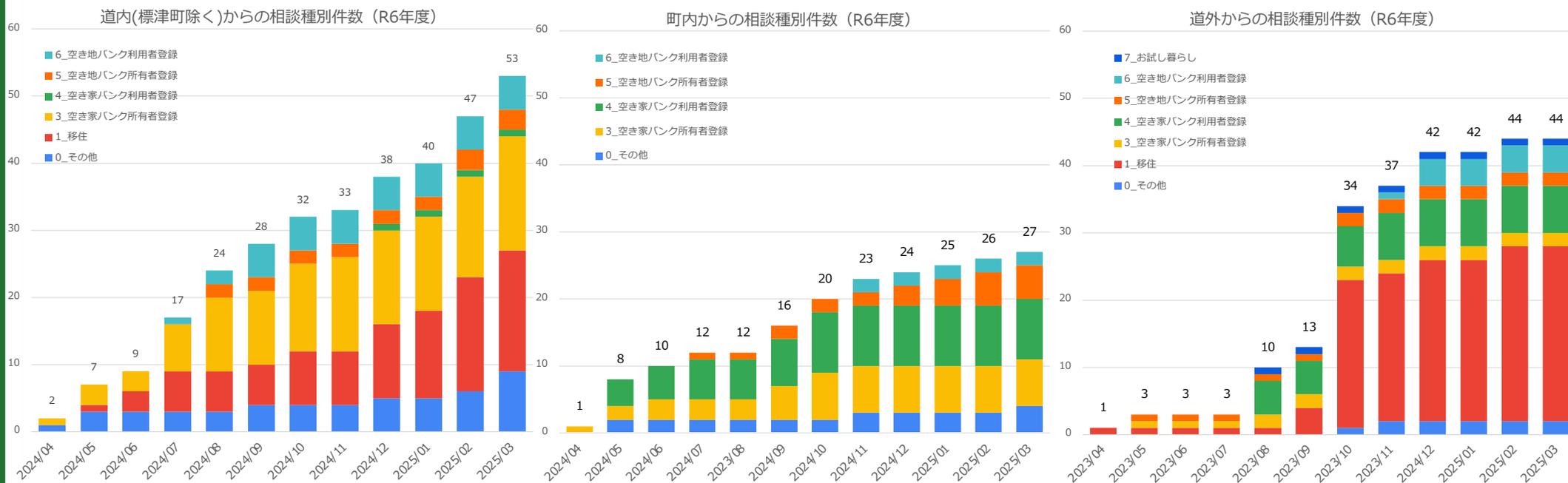


- 移住に関する相談は全体の約25%
- 空き家・空き地に関する相談は全体の約61%



# 03

## 相談種別ごとの問合せ件数推移（エリア別）



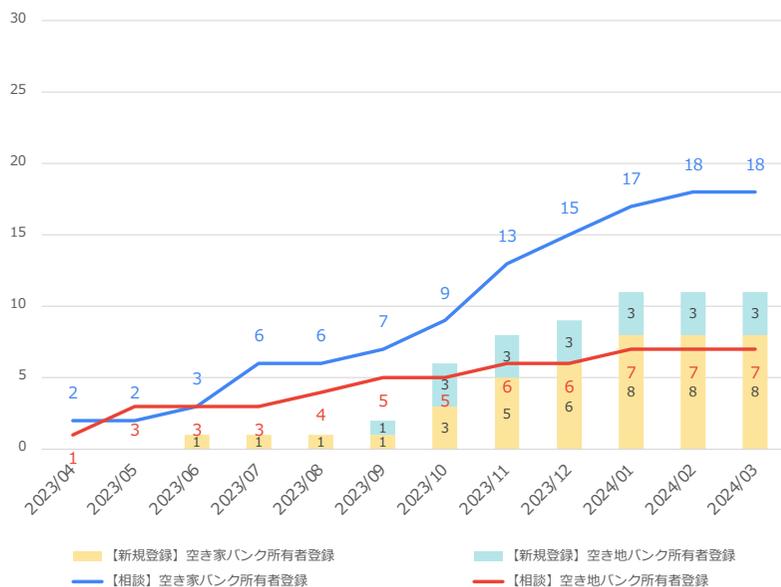
- エリア別（町内・道内・道外）で見ると、どのエリアもだいたい1~8件/月の相談数となっている。
- 道内は7月、町内は5月の相談数が大幅に増えているが、いずれも空き家の新規物件登録が重なっており、空き家バンクの所有者登録および利用者登録に関する問合せ増となっている。
- 道外からの移住相談については、物件探しの他に、就農・起業・求人も含めて相談される方が多い。



# 04

## 空き家・空き地バンクに関する相談/登録件数

空き家・空き地バンクの所有者登録に関する  
相談・新規登録件数の累計（R5年度）



空き家・空き地バンクの所有者登録に関する  
相談・新規登録件数の累計（R6年度）



- 空き家・空き地バンクの所有者登録に関する相談件数(折れ線グラフ)と新規物件登録件数(棒グラフ)を表示
- R6年度は空き家について、所有者登録に関する相談は、26件（月平均2.2件）あり、物件登録については年間6件のペース。R5と比較すると、登録物件数は減少しているが相談件数が伸びている。R7年度の登録に期待。
- 空き地については例年通りの数値となり、特に大きな変化なし



## 05

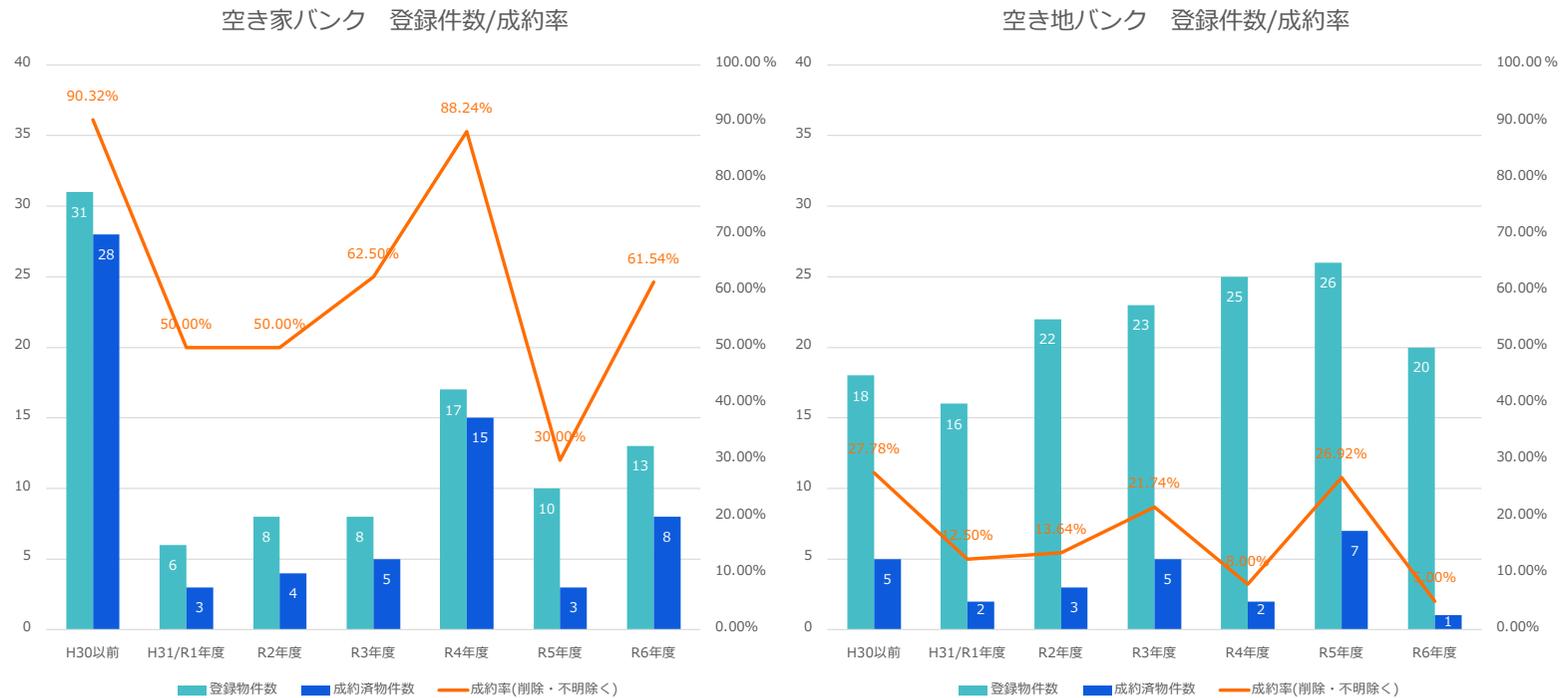
## 空き家・空き地バンクの登録件数/成約率

空き家	H30以前	H31/R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	全体
物件総数	40	6	8	8	17	10	13	-
物件総数(削除・不明除く)	31	6	8	8	17	10	13	71
新規登録件数	40	3	5	4	14	8	6	80
成約済	28	3	4	5	15	3	8	66
削除/不明	9	0	0	0	0	0	0	9
残数	3	3	4	3	2	7	5	5
成約率(削除・不明除く)	90.32%	50.00%	50.00%	62.50%	88.24%	30.00%	61.54%	92.96%
空き地	H30以前	H31/R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	全体
物件総数	19	16	23	25	25	26	21	-
物件総数(削除・不明除く)	18	16	22	23	25	26	20	44
新規登録件数	19	3	9	6	7	3	2	49
成約済	5	2	3	5	2	7	1	25
削除/不明	1	0	1	2	0	0	1	5
残数	13	14	19	18	23	19	19	19
成約率(削除・不明除く)	27.78%	12.50%	13.64%	21.74%	8.00%	26.92%	5.00%	56.82%

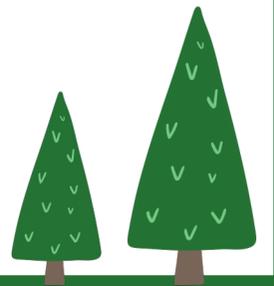
- これまでの空き家・空き地バンク登録物件数および成約状況等を示す。
- これまでの全体の空き家成約率は 93%、空き地成約率は 57% となる。(※削除・状況不明な物件は除く)



## 空き家・空き地バンクの登録件数/成約率

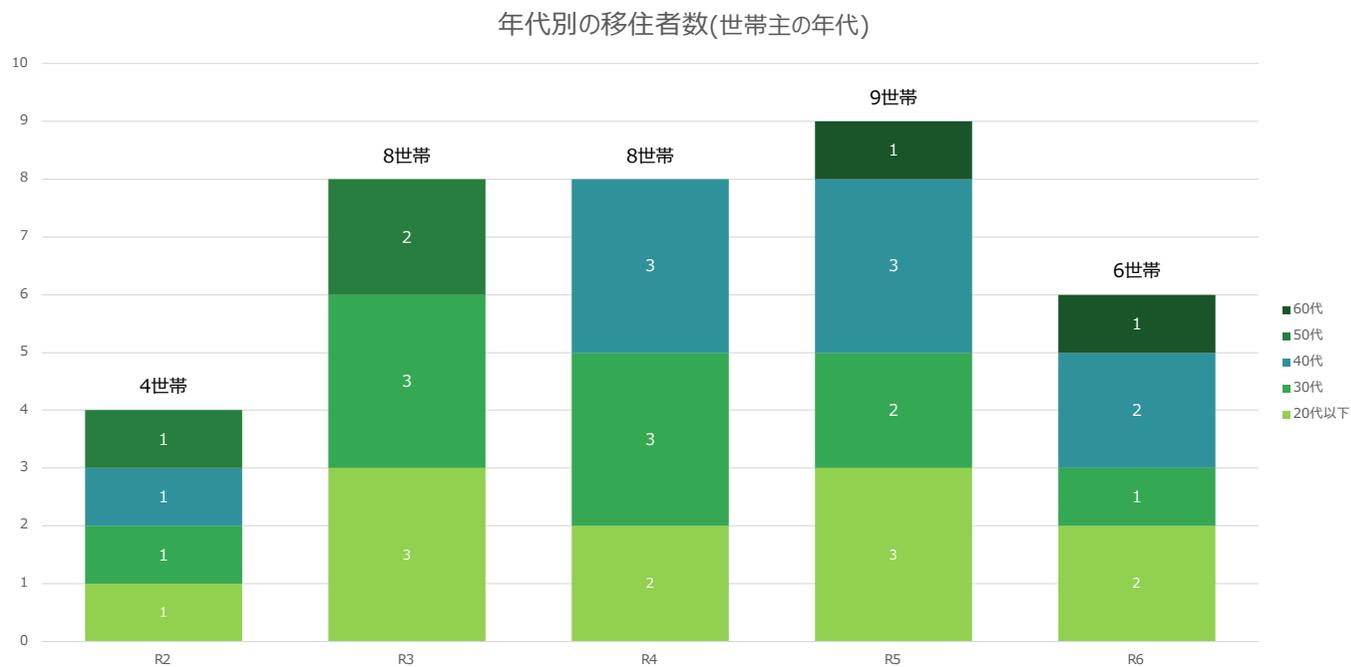


- これまでの空き家・空き地バンク登録物件数[前年度残数+新規登録件数]および、それに対する成約率の推移を示す。(H30以前はまとめて表示)
- R4年度は特に空き家の登録件数・成約率が大幅アップ。R5で登録件数、成約率が下がったが、R6で再度盛り返している。
- 空き地は全体で見ると成約率は50%を超えるが、単年で見ると成約率は低い状況。  
→ ★空き地の需要があまりない状態（新築住宅補助の拡充や、空き地取得に関する補助など検討願いたい）



## 移住者実績について（令和2年度～令和6年度調べ）

▶ 過去5年間（R2～R6年度）で **68名35世帯** の方が標津町へ移住



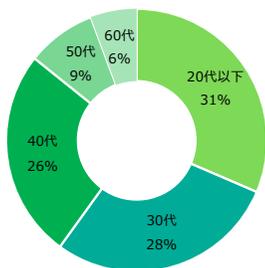
▶ 5年間で20代～40代の移住者がほとんど。若い世代の移住者が多い。



## 移住者実績について（令和2年度～令和6年度調べ）

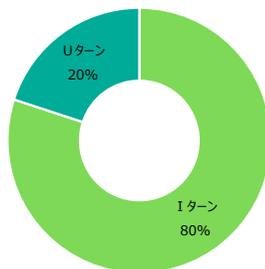
▶ 過去5年間（R2～R6年度）で **68名35世帯** の方が標津町へ移住

移住時の年代(世帯主のみ)



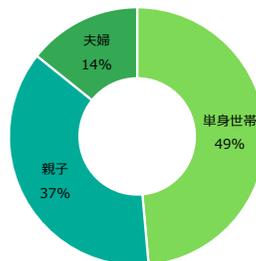
全体の85%が20～30代の若者世代

移住スタイル



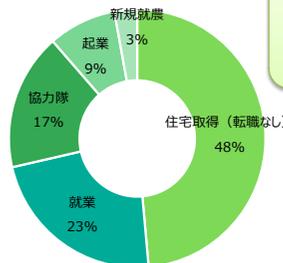
Iターン者がほとんど！

家族構成



単身での移住が半数を占める

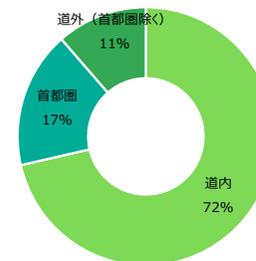
移住後の就業状況



移住して新規就農・起業が12%

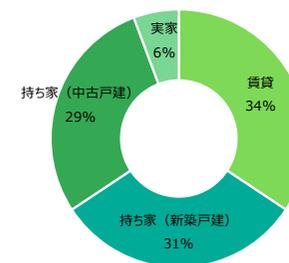
「転職なしの移住」とは、  
テレワークで移住された方や、  
就業先は変えずに、近隣の市町  
から移住された方を含みます。

移住前の居住エリア



道内：道外 = 7:3

移住後の住まい



移住後の住居の34%が賃貸物件



**THANK YOU!**

ありがとうございました